



本室蘭中学校区 コミュニティ・スクールだより

令和5年7月12日 第1号 発行者 本室蘭中学校区学校運営協議会



令和5年度 第1回学校運営協議会が開催されました

令和元年10月に本室蘭中学校区に学校運営協議会が設置され、コミュニティ・スクール(CS)となってから4年が経ちました。コロナ禍での開催は難しく、昨年度3年ぶりに10月と2月の2回、本運営協議会を開催することができました。令和5年度は、年間3回の開催を予定しており、6月21日(水)に第1回目の学校運営協議会を開催いたしました。前半は、白蘭小学校の5時間目の授業を参観していただき、各学年の児童や授業の様子を見ていただきました。後半の協議では、2校の校長より今年度の学校経営方針等の説明を行った後、4月から6月までに行われた教育活動について、映像を交えた紹介がありました。また、短い時間ではありましたが、8名の委員の皆様にご出席いただき意見交流も行うことができました。交流の内容につきましては、下記に概要をまとめておりますので、ご一読いただきますようお願いいたします。

令和5年度本室蘭中学校区 学校運営協議会委員の皆様(敬称略)

会長 田村 博文(白鳥台地区連合町会 会長)
副会長 池田 陽祐(白蘭小学校PTA 会長)
佐藤 雅広(本室蘭中学校PTA 会長)
委員 寺山 聡(本室蘭中校区民生・児童委員)
上西 武司(蘭北地区青少年健全育成推進協議会会長)
児玉 智明(みなみ町会 会長)
新藤 史憲(本室蘭中学校前PTA会長)
本田 章(白蘭小学校 校長)
永堀 善之(本室蘭中学校 校長)
間宮 隆行(白蘭小学校 教諭)

コミュニティ・スクールとは?

学校運営協議会が設置されている学校を『コミュニティ・スクール』と言います。学校運営協議会は、教育委員会が設置し、委員の任命も行います。運営協議会の役割としては、学校の教育方針について承認することや、学校の教育活動について意見を述べるなどあります。また、地域と学校が子どもたちに関する課題を共有し、連携してよりよい教育を行うことを目的としており、「学校の応援団」としての機能が期待されています。室蘭市は、全中学校区に学校運営協議会が設置されています。

◆協議の中で出された主な意見や質問◆

- 昨年度より授業参観や協議会で話を聞くことができたり、運動会等の行事の様子も見せていただいたりすることができるようになり、学校の様子がよく分かるようになってきて良かった。
- 授業の様子からICTを積極的に活用できている(使いこなせている)ように感じた。個の能力に応じた教材等の対応もできていて、個別最適な学び・学力の平準化に向かってると感じた。
- 地域人材の活用については、室工大等の協力も期待してはどうか。
- インクルーシブ教育の視点では、個の特性に応じた対応の仕方は大事であり、義務教育学校に向かうにあたって、学校規模にあった支援の在り方を考える必要がある。
- チャットGPT等、新しいICTの機能も義務教育学校として特色のある活動として取り入れるのも良いのではないかと。うまい使い方をすれば業務改善につながるのではないかと。
- 総合的な学習の時間に室蘭のことをしっかり調べていた。ふるさとについて学ぶ学習をきちんと進めていることがわかって良かった。
- 授業の様子から先生方がのびのびしていた、職員室の先生方の様子はどうか。先生が元気でのびのびしている状態で子ども達と向き合えることが大事だと思う。

